

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)											
専攻実技 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	青木			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
ヴォーカリストとして必要なスキルを身につけ、個人の個性を徹底的に伸ばし、高いクオリティーで表現できるアーティストを育成する。アーティストとしてだけでなく、ビジネスに繋げられる思考を育てる。業界で必要な広い視野を持ち、企画と発信もできることも最終目標とし、学生各々が自分を知り個性と向き合い、自信を持って外に発揮できるよう指導する。											
到達目標											
身体に負荷のかからない歌唱法を習得し、正しい音程とリズムで人前で表現豊かに歌うことができることを目標とする。フルコーラスを、習得したスキルを使い個性を最大限に活かした歌唱ができることを目標とする。											
授業方法											
少人数に各教室に分かれて、グレードに基づき、個別に歌唱指導する。											
成績評価方法											
試験30%授業内発表30%提出物20%平常点20%											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。学生個人が所有するPC、スマートフォン、タブレットを用いた学習を行う際はその使用を適宜許可する。											
教科書教材											
適宜プリントを用意する。											
回数	授業計画										
第 1 回	自身の声域を理解している。【グレード6対応】										
第 2 回	自身の声域の中で声を滑らかに繋げることができる。【グレード6対応】										
第 3 回	①こぶしという表現をつけることができる。【グレード7対応】										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)	
専攻実技 2	
第4回	②こぶしという表現をつけることができる。【グレード7対応】
第5回	①しゃくりという表現をつけることができる。【グレード7対応】
第6回	②しゃくりという表現をつけることができる。【グレード7対応】
第7回	①フォールという表現をつけることができる。【グレード8対応】
第8回	②フォールという表現をつけることができる。【グレード8対応】
第9回	①ヴィブラートという表現をつけることができる。【グレード9対応】
第10回	②ヴィブラートという表現をつけることができる。【グレード9対応】
第11回	自分が歌う楽曲の歌詞を理解でき、情景をイメージできている。【グレード10対応】
第12回	自分が歌う楽曲の歌詞や情景のイメージを歌に反映させることができる。【グレード10対応】
第13回	試験曲準備。
第14回	後期のまとめ。
第15回	試験を意識した授業内発表。

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
専攻実技 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本、藤崎			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
サウンドクリエイターとしての個性を徹底的に伸ばし、高いクオリティーで表現できる作品制作を目指す。そのためには学生各自が目指すサウンドの探求のみならず、幅広い知識、様々なスキルが求められる。本授業では講義とともに各自DAWで制作作業をするなかでそれらを身につけ、定期的な授業内発表により、締め切りに向けた自分なりの作業工程の組み立てを考えさせ、「人前で発表する」とはどういうことかを体感する。											
到達目標											
グレード対応科目となっており、1年次後期はグレード7～10に準拠して授業が進行する。学生各自がイメージする作品の完成に向け、高いクオリティーでのアレンジ、音色選び、ミックスがスピーディーにできることを目標とする。また、基本的な音楽理論の学習、様々な楽器の知識の習得、既存楽曲の分析により多様なメロディ、コード進行、リズムパターン、アレンジアイデアを生み出せる能力を身につける。											
授業方法											
個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか。それをどのように伝えていくかを意識しながら授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の職業観を育成していき、学生自身の音楽人としてのキャリア像を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
試験10%(試験)、授業内発表10%(授業時間内におこなう試験会、内容について評価する。)、提出物50%(授業内容の理解度を確認するために実施する。)平常点30%(積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。)											
履修上の注意											
この授業ではキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。USBメモリー、ヘッドフォン、変換アダプター、ノート、五線譜を持参すること。学生個人が所有するPC、スマートフォン、タブレットを用いた学習を行う際はその使用を適宜許可する。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第 1 回	グレード6対応。前期完成曲を学生全員で聞き、個別の弱点を把握できる。										
第 2 回	グレード7対応。CCを理解し、サスティン等の要素を編集することができる。										
第 3 回	グレード8対応。フィルター、ダイナミクス系のエフェクトを楽曲中に適用できる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)	
専攻実技 2	
第4回	グレード9対応。モチーフから、骨組みを作ることができる。
第5回	グレード9対応。セクションの骨組みから、ワンコーラスに発展できる。
第6回	グレード9対応。ワンコーラスの骨組みからフルコーラスの骨組みを作ることができる。
第7回	グレード9対応。構成、アレンジを練り、必要に応じ歌、楽器等の録音作業ができる。
第8回	グレード9対応。仕上げとしてブラッシュアップし、ミックスし、提出できる。
第9回	完成曲を学生全員で聞き、個別の弱点を把握できる。
第10回	グレード10対応。センドリターンを理解し、効率の良い方法で空間系エフェクトを使用することができる。
第11回	グレード10対応。テーマを各自で決め、作業計画をたて、骨組みを作ることができる。
第12回	グレード10対応。ワンコーラスの骨組みからフルコーラスの骨組みを作ることができる。
第13回	グレード10対応。構成、アレンジを練り、必要に応じ歌、楽器等の録音作業ができる。
第14回	グレード10対応。仕上げとしてブラッシュアップし、ミックスし、提出できる。
第15回	グレード10対応。完成曲を学生全員で聞き、個別の弱点を把握できる。

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
専攻実技 2 (Gt)											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	岡			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
学生個々の個性を伸ばすことに留意しながら、グルーブレッスン形式で行われる。グレード対応科目になっており、1 年次後期はグレード 6 ～ 1 0 に準拠して授業が進行する。グレードの内容を段階的に習得していくことで、プロミュージシャンに必要な技術や知識を身につけ、学生個々の音楽スタイルに生かした演奏を出来るようにする。											
到達目標											
各グレードの内容を習得することによって技術と知識が身につき、ギタリストとしての音楽的表現の幅を広げ、個々の目指す音楽に生かしたプレイが出来るようになることを目標とする。他学生のプレイスタイルや音楽性を知ることが出来るグルーブレッスンの利点を生かして、共に刺激し合って上達を目指す。											
授業方法											
練習用ギターアンプで適量の音を出しながら課題に取り組み、アドバイスを受けて習得する。ギター、シールド、ストラップ、チューナー、ピック等演奏に必要なものを持参すること。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適宜資料を配布する。											
回数	授業計画										
第 1 回	グレード 6 対応。ダイアトニックコードを開放弦を使わないコードフォームで弾けるようにする。										
第 2 回	グレード 6 対応。ダイアトニックコードを開放弦を使わないコードフォームで弾けるようにする。										
第 3 回	グレード 6 対応。ダイアトニックコードを開放弦を使わないコードフォームで弾けるようにする。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)	
専攻実技 2 (Gt)	
第 4 回	グレード 7 対応。1 6 ビートカッティングと 1 6 分音符のクロマチック演奏をテンポ 1 1 0 以上で出来るようにする。
第 5 回	グレード 7 対応。1 6 ビートカッティングと 1 6 分音符のクロマチック演奏をテンポ 1 1 0 以上で出来るようにする。
第 6 回	グレード 7 対応。1 6 ビートカッティングと 1 6 分音符のクロマチック演奏をテンポ 1 1 0 以上で出来るようにする。
第 7 回	グレード 8 対応。ダイアトニックコードにオブリガートを加えてバックキングを弾けるようにする。
第 8 回	グレード 8 対応。ダイアトニックコードにオブリガートを加えてバックキングを弾けるようにする。
第 9 回	グレード 8 対応。ダイアトニックコードにオブリガートを加えてバックキングを弾けるようにする。
第 1 0 回	グレード 9 対応。インサイド&アウトサイドピッキングを交えた講師指定のフレーズを弾けるようにする。
第 1 1 回	グレード 9 対応。インサイド&アウトサイドピッキングを交えた講師指定のフレーズを弾けるようにする。
第 1 2 回	グレード 9 対応。インサイド&アウトサイドピッキングを交えた講師指定のフレーズを弾けるようにする。
第 1 3 回	グレード 1 0 対応。テンションコードを含むコードワークを交えながらシャッフルのブルースを弾けるようにする。
第 1 4 回	グレード 1 0 対応。テンションコードを含むコードワークを交えながらシャッフルのブルースを弾けるようにする。
第 1 5 回	グレード 1 0 対応。テンションコードを含むコードワークを交えながらシャッフルのブルースを弾けるようにする。

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
専攻実技 2 (Ba)											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	満園庄太郎			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
多種多様な音楽ジャンルがある中で様々な演奏スタイルを身につける事が重要です。これからの音楽業界に対応するには多くの音楽に触れる事が大事です。様々な音楽を習得する中で個々のスキルと個性を伸ばしていきます。											
到達目標											
前期に取得したスキルを生かしプロのフィールドで通用するベーシストの演奏を研究、その演奏を再現しながらも自身のオリジナリティを加えることができることを目標とする。音楽界、インターネット上など各方面に通用する演奏家を目指す。											
授業方法											
自身の楽器を使用し講義内容を確認しながら進行します。すべての演奏を講師と共にする事で確かな演奏とタイム感を身につける。演奏を感覚的にだけではなく理論的にも分かりやすく進める。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
ステップアップ方式の授業展開のため、欠席した場合はプリント、楽譜を受け取り、次回までに補講することが必要になります。また、提出課題は自宅、または放課後解放などを利用して提出しなければなりません。4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。											
教科書教材											
配布楽譜、配布プリント											
回数	授業計画										
第 1 回	ピックまたはスラップ奏法の基礎を習得しいる。Grade6										
第 2 回	ピック奏法またはスラップ奏法をオクターブ奏法で弾ける。										
第 3 回	ピック奏法またはスラップ奏法でメジャースケールの上昇下降が出来る。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)	
専攻実技 2 (Ba)	
第 4 回	ピック奏法またはスラップ奏法で複雑なフレーズを安定したリズムで弾く事が出来る。
第 5 回	4和音のコードネームを見て分散和音が弾ける。Grade7
第 6 回	3和音プラス7thのフィンガートレーニングを安定したリズムで弾ける。
第 7 回	3和音プラス9thのフィンガートレーニングを安定したリズムで弾ける。
第 8 回	3和音プラス7thor9thのフィンガートレーニングを2オクターブで安定したリズムで弾ける。
第 9 回	8ビートグループのベースラインを安定したリズムで弾ける。Grade8
第 1 0 回	8ビートグループのベースラインを3コードで安定したリズムで弾ける。
第 1 1 回	8ビートグループのベースラインを循環コードで安定したリズムで弾ける。
第 1 2 回	16ビートグループのベースラインを安定したリズムで弾ける。Grade9
第 1 3 回	16ビートグループのベースラインを3コードで安定したリズムで弾ける。
第 1 4 回	8ビートor16ビートシャッフルグループのベースラインを安定したリズムで演奏できる。Grade10
第 1 5 回	8ビートor16ビートシャッフルグループのベースラインを循環コードで安定したリズムで演奏できる。

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
専攻実技 2 (Dr)											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	田原歩			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、インストラクター				
授業概要											
グレード対応科目となっており、グレード6～10に準拠して授業を進行する。常に力みがないかを確認しながら16分音符を中心とした様々なフレーズ、リズムパターンを使ってスピード感、キレを意識した演奏を指導する。手足を混ぜたコンビネーションフレーズも、体の軸がぶれずに安定したドラムを叩けるように指導する。また装飾音符にも丁寧に取り組み、ダイナミクスを操り、立体感のあるドラミングについて指導する。											
到達目標											
楽器や肉体の構造から鑑み、ドラムを演奏する上で不可欠な合理的なプレイフォームを学ぶ。プロとして活動することを前提とし、様々な音符をスムーズに叩き分け、力みのない心地よいキレのある音色、ドラミングを目指し、またそれぞれのリズムの持つ特徴を理解して、その曲が求めているフィーリングを瞬時に見極めるスピードのある対応力を鍛え、人間味のある演奏力を身につけることを目標とする。											
授業方法											
各1人ずつドラムセットについて指導を受ける。あらかじめ組み立てた基本的なカリキュラムに沿って授業を実施しつつ、学生一人一人と向き合いそれぞれが抱える悩みや弱点を常に確認し、それらの改善の為に最良な方法を提示する。最終的な目標・到達点・修得したい技術なども一人一人の要望を聞き出し、その実現のために必要な技術、知識を指導する。またテクニカルで修得した技術の実用的な応用方法も合わせて指導する。											
成績評価方法											
試験20%(授業内容の理解度を確認する)、授業内発表30%(技能、及び表現力を評価する)、提出物20%(知識及び思考力・判断力を評価する)平常点30%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
なし											
回数	授業計画										
第 1 回	前期のおさらい										
第 2 回	バスドラム、ダブル奏法についての理解。/足のダブル奏法を正しく理解し、演奏できる。										
第 3 回	16ビートについての理解。(1)/グレード8対応。ハイハットに様々なアクセントをつけて16ビートを叩ける。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)	
専攻実技 2 (Dr)	
第 4 回	16ビートについての理解。(2)/グレード8対応。ウラ拍にアクセントをつけて16ビートが叩ける。
第 5 回	16ビートについての理解。(3)/グレード8対応。16分音符のバスドラムパターンで16ビートが叩ける。
第 6 回	手足のコンビネーションについての理解。(1)/グレード6対応。手と足を混ぜた8分、16分フレーズを叩ける。
第 7 回	手足のコンビネーションについての理解。(2)/グレード6対応。リニアドラミングを理解し、叩ける。
第 8 回	ダブルストローク、パラディドルについての理解。(1)/グレード7対応。リバウンドを使って連続した音符を叩ける。
第 9 回	ダブルストローク、パラディドルについての理解。(2)/グレード7対応。ダブルストロークの原理を理解し、ダブルストロークを使って16分音符を叩ける。
第 1 0 回	ダブルストローク、パラディドルについての理解。(3)/グレード7対応。4つのパラディドルを使ってフレーズを叩ける。
第 1 1 回	ドラッグについての理解。(1)/グレード9対応。ゴーストノートを使った基本のフレーズが叩ける。
第 1 2 回	ドラッグについての理解。(2)/グレード9対応。ドラッグをゴーストノートとして叩ける。
第 1 3 回	3連のリズムパターンについての理解。(1)/グレード10対応。基本的な3連系のリズムパターンを叩ける。
第 1 4 回	3連のリズムパターンについての理解。(2)/グレード10対応。ゴーストノートを取り入れた3連系リズムパターンを叩ける。
第 1 5 回	全体のまとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
専攻実技 2 (Key)											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
ピアニスト、キーボーディストとしての基礎テクニックの向上と、プロキーボーディストになる上で必要なコード、スケール、リズム(グルーヴ)を実践的に理解して演奏していくことを目指す。この授業では、学生個々の音楽の方向性を考慮しながらも、音楽史に残る名曲、名演奏のエッセンス、時代によって変化するポップ・ミュージックの本質を学び、現代的センスも取り入れながら、よりクオリティの高い技術表現を身につける。											
到達目標											
1年次前期はグレード1～5に準拠して授業が進行する。著名なキーボーディストの演奏テクニックの完全な再現ではなく、彼らのフォーム、運指、スケール、コードボイシング、バックングパターンをそれぞれ分析、理解し、自らの音楽性に生かしていけるキーボーディストを目指す。1年次においては基礎的な奏法や理論を習得し、その上で装飾音のニュアンス、グルーヴといった応用につなげ、技術の質を高める。											
授業方法											
学生個々の個性を活かすことに留意しながら、個人レッスンやグループレッスン形式で進行する。音楽史に残るプレイヤーの技術をどのように吸収し、理解するか。それをどのように自分自身の音楽に取り入れて、未来に残せるかを意識しながら授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の職業観を育成していき、学生自身の音楽人としてのキャリア像を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
試験30%(試験と課題を総合的に評価する)、提出物20%(授業内容の理解度を確認するために実施する。)、成果発表20%(授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する)、平常点20%(積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。)											
履修上の注意											
この授業ではキャリア形成の観点から、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応するが、プレイヤーを目指す表現者の一人としての積極的な授業参加を求めたい。音楽的コミュニケーションと良好な人間関係とは本質的に同義だと理解し努力すること。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書:キーボードバックングまる覚え、ジャズ無窮動トレーニング											
回数	授業計画										
第 1 回	グレード6対応。三和音のDiatonicChordを展開系のコードフォームで弾ける。										
第 2 回	グレード6対応。四和音のDiatonicChordを展開系のコードフォームをで弾ける。										
第 3 回	グレード6対応。テンションを含むDiatonicChordを展開系のコードフォームで弾ける。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)	
専攻実技 2 (Key)	
第 4 回	グレード7対応。調号3つまでのマイナー・スケール(3種類)を、片手で弾くことができる。
第 5 回	グレード7対応。マイナー・スケールをペアレント・スケールとする7つのスケールについて習得し片手で弾くことができる。
第 6 回	グレード7対応。7つのダイアトニック系モーダル・スケールを演奏し、聴き分けることができる。
第 7 回	グレード8対応。三和音のDiatonicChordにオフリガートを加えてバックキングが弾ける。
第 8 回	グレード8対応。四和音のDiatonicChordにオフリガートを加えてバックキングが弾ける。
第 9 回	グレード8対応。テンションを含むDiatonicChordにオブリガートを加えてバックキングが弾ける。
第 1 0 回	グレード9対応。全調の音階(メジャー・スケール・マイナー・スケール(3種類))を、両手で弾くことができる。
第 1 1 回	グレード9対応。マイナー・ペンタトニック・スケール、ブルース・スケールについてフレージングができる。
第 1 2 回	グレード9対応。モーダル・スケールを使ったフレージングの応用方法がわかる。
第 1 3 回	グレード10対応。12小節ブルース(基本/Rock的/Jazz的)のコード進行を理解し、ベーシックなブルース・フレーズを弾ける。
第 1 4 回	グレード10対応。講師指定のコード進行に対して、主に四和音を使ったバックキングができる。
第 1 5 回	グレード10対応。ロング・ソロを構成する諸要素について考えながら、バックキング、フィルイン、ソロ・フレーズの拡張ができる。